

日程変更にもかかわらず

たくさんの暖かい声援ありがとうございました。



9月30日（日）に予定していた運動会ですが、台風により10月2日（火）に延期となってしまいました。予定を変更した火曜日開催にもかかわらず、たくさんの応援をいただきありがとうございました。台風が2個も列島を縦断する9月となり、思うような練習はできませんでしたが、練習のはじめに子どもたちに話した『ベストを尽くせ』の言葉通り、練習の段階からケガをしないように集中して取り組むことができ、持てる力を精一杯発揮し、元気な運動会となりました。子どもたちみんな、よく頑張りました。



読書のススメ

スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋といわれるように、何をするにも絶好の季節となりました。

そこで、毎週月曜日には朝学習で「読書」に取り組んでいます。この季節にもっと読書に親しんでもらいたいと思っています。

どうして読書を勧めるのかといいますと、本に静かに語りかけると本は読み手に誠実にこたえてくれるからです。本は、ある種、心から信頼できる親友のようなものかもしれません。読書とは私たちにとって一体どのようなものなのでしょう。一つ目は、本を読むことによってまだ見ぬ人々の出来事、様々な考え方に触れることができます。作者や登場人物に直接会って話をしなくても、本の中で時代や民族や場所を越えて話しかけることができます。本は、テレビや映画の世界とは違う文字の世界です。絵や映像を越えた文字の世界に飛び込んでみないことには、その素晴らしさはわかりません。そして、本の中で素晴らしい人物の生き方に出会ったり、遠い世界を近くに引き寄せたり、一つの言葉が突然光り輝いたりして、自分が新しい世界の扉をまた一つ開けたと感じます。こんな時、心の底から本との出会いに感謝できます。二つ目は、読書することで静かな心を取り戻し、静かにものを考えることができます。今の時代は忙しすぎます。何が本物で、何がニセ者なのかわからないことが多すぎるように思います。こんな世の中で、自分を取り戻すことができるのが読書です。そして、作者の考えを通して自分の考えを広め、深めていくのが読書の本当の楽しみだと思っています。

本の世界は、本の扉を開かない限り語りかけてはくれません。勇気を持って本の扉を開いてほしいと思います。そして、本の世界の素晴らしい人々の出来事に会う喜びを体験することによって、きっと今までと違う新しい自分を発見できると思います。ゲームの世界も楽しいですが、11月には、読書週間も設定しますので、この季節に、ぜひ、本の世界も覗いてほしいものです。

校長 土井 安博